



令和6年度

事業運営に関する自己評価表（保育所等訪問支援）

チェック項目		はい	いいえ	取り組み状況
環境・運営・体制整備				
	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		お子さまによって適切なものを準備しています。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		訪問支援員の人数に限りがございます為、利用者の人数に制限を設けています。
業務改善				
	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		スタッフ全員で振り返りやお子さまについての情報共有を実施し、現在の課題を共有し目標を立て改善にあたっています。お子さま、保護者さまへの支援も日々共有し、スタッフ全員で把握できるように努めています。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さまへアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	5 従業者の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ココモのホームページにて公開しています。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は保護者さま・事業所内の二者評価を実施しています。第三者による外部評価については現在実施する予定はありませんが、今後必要に応じて実施します。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修・外部研修含む研修を実施しています。今後も職員に対し継続的に研修を行なっています。
適切な支援の提供				
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		各領域の状態を把握できるオリジナルのアセスメントツールを使用し、お子さまのご家庭・園・学校等での状況の把握に努めています。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員よりココモや園、学校等での子どもの様子や課題、保護者さまのご意向等踏まえ、子どもの最善の利益を考慮して検討しています。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		計画を作成する際には園、学校等での子どもの様子や課題等を事前に伺い作成しています。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画はお子さま一人ひとりに対して、なぜそのような内容となったのか保護者さま、園、学校等とのやりとり、背景まで職員に共有し、どのようにすすめていくのか確認を行なっています。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		各領域の状態を把握できるオリジナルのアセスメントツールを使用し、お子さまのご家庭・園・学校等での状況の把握に努めています。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		お子さまの指導形態に合わせて、個別支援計画を策定しています。
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画はお子さま一人ひとりに対して、なぜそのような内容となったのか保護者さま、園、学校等とのやりとり、背景まで職員に共有し、どのようにすすめていくのか確認を行ない支援しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で当日訪問支援をご利用予定のお子さま一人ひとりの情報共有をし、個々のお子さまのその時の状況や様子を勘案して役割分担や課題を設定しています。
	16 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間で指導の際の良かった点、うまくいかなかった点、気付いた点等をお子さま一人ひとり記録で残し、共有しています。
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や指導方針、支援手法を前提を確認し支援しています。
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		訪問支援を担当した職員が気付いたこと等を記録し、職員全員で共有し次回訪問支援時に付加すべき点や改善点・注意すべき点を検討しています。
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		直近のお子さまの状況により随時モニタリングを行ない、職員間で見直しが必要と感じた際には改めて訪問先のご担当者さまや保護者さまと面談を実施し、計画の見直しを行なっています。
関係機関や保護者との連携				
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議が実施される場合は、施設長（管理者）もしくは児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関連携を実施しています。また、申し送り書や情報共有シートを用いて情報共有ができる体制を整えています。
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて関係機関連携を実施しています。また、申し送り書や情報共有シートを用いて情報共有ができる体制を整えています。
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		
	24 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都筑区自立支援協議会に参加しています。
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問支援終了後には保護者さまへ後日フィードバックを実施し、お子さまの様子などの情報共有を図っています。
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	ご家族（保護者さま）に対してお子さまの対応について相談援助を行なうことはありますが、家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）、またご家族等の参加できる研修等は行なっていません。
保護者への説明責任等				
	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定・利用者負担などについて契約時に丁寧に説明するとともに、玄関スペースに重要書類をファイルに格納し、閲覧できるようにしています。
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画を作成する際には、お子さま、保護者さまのご意向を確認する機会を設け、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて実施しています。
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画は必ず口頭で支援内容の説明を行い、保護者さまより同意を得ています。
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問支援に際してのご報告は丁寧にご対応できるよう心がけています。ご相談内容によっては改めてお時間を頂戴し面談を実施しています。
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	今年度は感染症等を考慮し保護者会等を開催できませんでしたが、今後感染症等の状況を勘案しながら実施に向けて努めます。
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		お子さまや保護者さまからの相談の申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応できるよう努めています。
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		個別に配布物にてご案内しています。また、玄関スペースにも必要な情報等を掲示しています。
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど適切な対応を行なっています。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さまや保護者さまの状況に応じて、視覚的な情報等を活用して意思の疎通や情報の伝達を実施しています。
訪問先施設への説明等				
	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		活動後にお時間をいただき、振り返りだけでなく、日々の園や学校生活におけるご相談等に対応できるよう努めています。
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		活動後にお時間をいただき、振り返りだけでなく、日々の園や学校生活におけるご相談等に対応できるよう努めています。
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援に際してのご報告は丁寧にご対応できるよう心がけています。ご相談内容によっては改めてお時間を頂戴し面談を実施しています。
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類を施設外へ持ち出す場合は、個人が識別されるものは特定の箇所を黒く塗りつぶす処理をし、個人が特定できないよう適切な対応を行っています。
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		活動後にお時間をいただき、振り返りだけでなく、日々の園や学校生活におけるご相談等に対応できるよう努めています。
非常時等の対応				
	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを職員が常時閲覧できるようにし、周知徹底を図っています。
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		計画に基づき、必要な研修や訓練、安全管理確認を実施しています。
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		支援終了後に振り返りを行ない、毎日ヒヤリハット報告を作成し、職員間で共有しています。
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止マニュアルの設置を行ない、職員全員で適切な対応がとれるよう社内研修の場を設けています。
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者さまへはご契約時に説明し、個別支援計画の備考欄にも記載しています。